

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月4日
 派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	嬭恋村役場	代表者名	熊川栄
担当者部署	総合政策課	連絡先電話番号	0279-96-1257
担当者役職	係長	担当者氏名	久保宗之
住所	377-1692 群馬県嬭恋村110		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	シティプロモーションを、なぜプロモーションするのか、何をプロモーションするのか、どうプロモーションするのか、を理論と事例を挙げて内容がわかりやすい講義となった。メディア活用戦略モデルを用いる利点についても、活用できるメディアの種類やメディアの棚卸の例、関心を惹起させる手法などについても細かく説明してくれた点。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月26日	14時00分	16時30分	5	145
3-2. 派遣場所	会場名	嬭恋村役場会議室		最寄駅	軽井沢駅
	所在地	嬭恋村大字大前110		最寄駅からの交通手段	申請者で送迎
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 副村長、庁内情報発信検討会議メンバー、情報発信に取り組む職員など	人数 18人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 各所属によって情報発信の方法や頻度が違う。積極的に情報を発信する意識が不足。</p> <p>支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) 村の魅力や行政情報を発信することの重要性やシティプロモーションとの関係性を学ぶことによる意識付け。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) シティプロモーションと、それを支える行政広報「共創参画プロモーション」に向けてと題した講義を実施。なぜ、何を、どう、プロモーションするのかを学んだ。</p> <p>支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) 職員から、勉強会終了後に「とても勉強になった」「今後の業務に活かしたい」などの声が聞かれた。</p> <p>具体的な成果物 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 行政情報を発信する重要性やシティプロモーションの意義や目的の意識付けが行えた。</p> <p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください) 今回の勉強会は意識付けを目的とした講義だったため特になし。</p> <p>アンケートの内容と分析結果 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 村職員を対象とした勉強会だったため、講義の内容の是非を問うものではなかったことからアンケートは実施せず。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	村を持続的に発展させるために、村のブランドを確立し、シティプロモーションを実現するメディア戦略モデルの構築を図る。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

